

## 平成30年度 全国体力・運動能力・運動習慣等調査の結果

**調査対象** 第5学年児童



**調査内容**

- ①体格に関する調査…○身長 ○体重
- ②実技に関する調査…○握力 ○上体起こし ○長座体前屈 ○反復横跳び ○20mシャトルラン  
○50m走 ○立ち幅跳び ○ソフトボール投げ
- ③質問紙調査…○生活習慣 ○食習慣 ○運動習慣
- ④学校に対する質問紙調査…○体育授業について ○体育授業以外の取組 ○地域や家庭との連携

**調査結果の概観**

### ①体格に関する調査

- 男子は身長・体重とも全国・全道平均と同等です。肥満傾向児の割合が全国・全道の平均よりも高くなっています。高度肥満はおりませんが、軽度肥満の割合が全国・全道平均を上回っています。
- 女子は身長・体重とも全国・全道平均をやや上回っています。肥満傾向児の割合が全国・全道の平均よりも低くなっています。中等度肥満はありますが、正常域の割合が大きく、高度・軽度の肥満はいません。

### ②実技に関する調査

- 男子は体力合計点で全国・全道平均と同等です。
- 男子は「反復横跳び」「ソフトボール投げ」「立ち幅とび」が全国・全道平均を上回っており、筋力や瞬発力について高い結果となっています。
- 女子は体力合計点で全国・全道平均を下回りました。
- 女子は「握力」「長座体前屈」で全国・全道平均を上回っており、筋力や柔軟性について高い結果となっています。
- 男女ともに「50m走」、女子においては「20mシャトルラン」が全国・全道平均を大きく下回っています。

### ③質問紙調査の概要

- 男子は運動に対する意識が高く、それに付随するように1週間の総運動時間が全国・全道平均より高い結果となっています。女子は運動に対する意識が男子よりは低く、「体力に自信がある」と考えている児童が全国・全道平均よりも若干下回っています。
- 放課後や休みの日に「運動やスポーツをすることがよくある」と答えている児童の割合が男女とも全国・全道の平均よりも高く、友達と運動やスポーツを楽しむ機会が多いことがわかりました。
- 「朝食を毎日食べる」と答えている男子が全国・全道平均よりも多く、「食べない日もある」と答えている児童が女子に見られました。

**今後に向けて**

男女ともに力強さ、動きを持続する能力に大きな課題が見られます。ボール運動や走る運動などで持久力を高める必要があります。また、規則正しい生活の推進や食事、睡眠などの生活習慣の改善を図るために、学校と家庭・地域が一体となって取り組みを進める必要があります。